



県では、人口減少下においても、将来に渡って住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、「宮崎ひなた生活圏づくり」の取組として、地域運営組織の形成等を支援しています。

この通信では、地域で暮らす人々が中心となって地域課題の解決に取り組んでいる事例など、これからの地域活動のヒントとなるようなものを発信していきます。

地域住民による高齢者等の移動支援

～まちづくり協議会「チーム本城」～

地域名：串間市本城地区
活動地域：串間市本城地区内
団体名：まちづくり協議会「チーム本城」、
地域概況：人口1,343人、
世帯数755世帯、高齢化率58.6%
(住民基本台帳 令和5年1月1日現在)
問い合わせ先：まちづくり協議会「チーム本城」
(事務局 0987-71-3011)



【取組の経緯等】

- 令和2年度から地域住民が主役となり、住民同士が共に助け合う「共助」の仕組みづくりとして、地域連携組織の設立を目指し、住民アンケートや視察研修を実施。令和3年4月に住民主体で地域の課題を解決していくための組織として「チーム本城」が発足した。
- 地域の課題について話し合いを重ねる中で、意見として出していた「高齢者の移動手段の確保」については特に重要な課題と捉えていた。
- また、市コミュニティバス「よかバス」が2008年度から運行しているが、各地区を通る「集落線」は、週1、2回の運行であったことから、地域内における移動の利便性向上が課題となっていた。
- そのため、令和3年度に県事業を活用し、地域移動手段確保のための座談会を計5回開催。移動に関する課題共有や要移動支援者マップの作成、戸別訪問調査、先進事例視察などを実施し、本城地区で実施する互助輸送の取組内容を決定した。
- 令和4年10月から、高齢者等の交通弱者を対象とした実証運行を開始。

【移動支援の概要】

- 互助輸送で地区内の住民を地区内の温泉施設やコミュニティバスの停留所へ送迎。
- 週に5回(月～金曜日)、予約に応じて適宜運行している。
- 前日の午後3時までにチーム本城に連絡すれば利用できる。
- 利用者からは、輸送に係る利用料やガソリン代は徴収していない。
- 車両はリース(個人名で契約)しており、リース料及び燃料代は市からの協議会運営補助金から賄っている。
- ボランティアドライバーは、協議会の役員5名が担っており、交代で対応している状況。(謝金なし)
- また、社会福祉協議会が認知症患者や地域住民が集う場として月1回開催している「本城地区茶飲み場『オレンジカフェ』」に参加する際にも、チーム本城が会場までの送迎を実施。(カフェの利用料は1回200円)

【工夫点や特徴】

- 市が運行しているコミュニティバスと競合しないよう、コミュニティバスが運行している時間帯以外をカバーする目的で運行している。
- 現在は互助輸送で運行しているが、持続的な取組とするため、利用料金を徴収する自家用有償旅客運送の登録を目指している。
- また、法人格でないと車両のリース契約が結べないこと等から、NPO法人化について検討中。

【その他の活動】

- JR日南線で市外の高校へ進学している生徒を持つ保護者から、早朝の串間駅までの送迎が負担になっているとの声を聞き、保護者の負担軽減を図るため、チーム本城で週1回送迎を実施している。(対象2名)



『地域で始める移動支援手順書』を作成しました。
地域で移動支援の取組を検討する際の参考資料として、御活用ください。

手順書はコチラ



宮崎県総合政策部中山間・地域政策課
中山間・特定地域振興担当

電話:0985-26-7036

メール:chusankan-chiiki@pref.miyazaki.lg.jp